

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2014年4月4日
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期NZドル債オープン（資産成長型） <ul style="list-style-type: none">・短期NZドル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 短期NZドル債マザーファンド <ul style="list-style-type: none">・ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	短期NZドル債オープン（資産成長型） <ul style="list-style-type: none">・株式への実質投資は行いません。・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 短期NZドル債マザーファンド <ul style="list-style-type: none">・株式への投資は行いません。・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

運用報告書（全体版）

第8期

決算日 2018年3月7日

短期NZドル債オープン （資産成長型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期NZドル債オープン（資産成長型）」は、去る2018年3月7日に第8期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

短期NZドル債オープン（資産成長型）

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込金	期騰落	中率			
	円	円	円	(参考指数)	%	%	%	百万円
第4期（2016年3月7日）	9,342	0	0	9,439	5.1	95.5	—	274
第5期（2016年9月7日）	9,206	0	△1.5	9,349	△1.0	97.2	—	384
第6期（2017年3月7日）	9,746	0	5.9	9,971	6.6	94.7	—	404
第7期（2017年9月7日）	9,735	0	△0.1	10,010	0.4	90.5	—	47
第8期（2018年3月7日）	9,531	0	△2.1	9,868	△1.4	91.3	—	44

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*先物組入比率は、買建比率-売建比率

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円	%	(参考指数)	%	%	%
(期首) 2017年9月7日	9,735	—	10,010	—	90.5	—
9月末	10,038	3.1	10,342	3.3	93.7	—
10月末	9,584	△1.6	9,884	△1.3	94.6	—
11月末	9,507	△2.3	9,793	△2.2	94.8	—
12月末	9,959	2.3	10,260	2.5	93.2	—
2018年1月末	9,899	1.7	10,231	2.2	97.3	—
2月末	9,637	△1.0	9,971	△0.4	91.3	—
(期末) 2018年3月7日	9,531	△2.1	9,868	△1.4	91.3	—

*騰落率は期首比です。

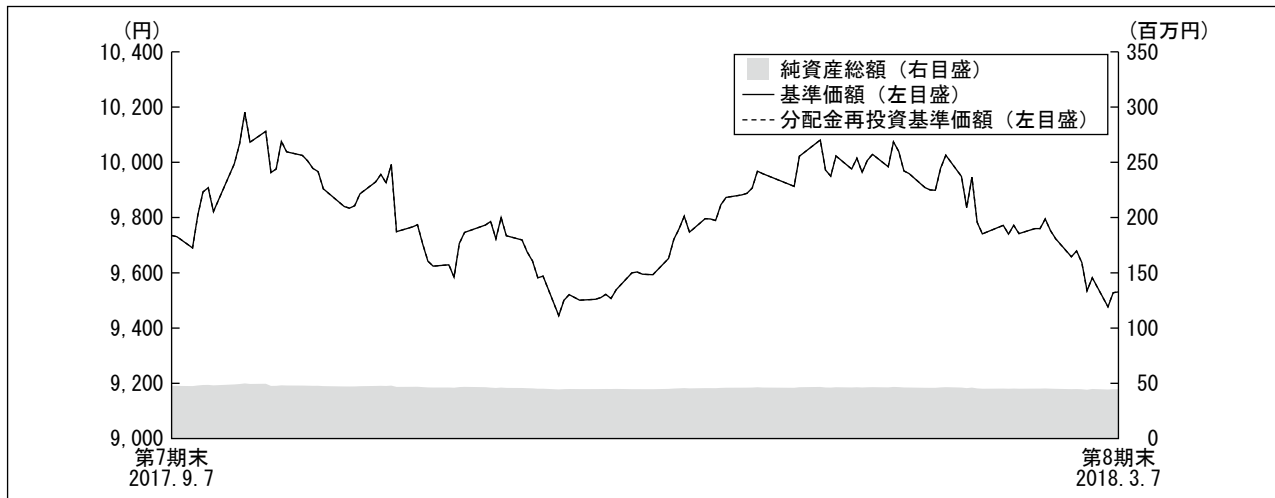
*先物組入比率は、買建比率-売建比率

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

短期NZドル債オープン（資産成長型）

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドにはベンチマークはありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首：9,735円

第8期末：9,531円（既払分配金 0円）

騰落率：△2.1%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

ニュージーランド国債利回りは長期ゾーンが上昇（価格は下落）した一方、主たる投資対象である短期ゾーンは低下（価格は上昇）したことが上昇要因となりました。RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が政策金利据え置きを継続した一方、米国主導でグローバルに長期国債利回りが上昇したことが影響しました。

（下落要因）

ニュージーランドドル円相場が期首の78.73円から期末に76.88円へ下落したことが下落要因となりました。2017年9月に実施された総選挙で与党・国民党が単独過半数を獲得できず、野党3党による連立政権が樹立されたことが嫌気され、ニュージーランドドルは急落しました。12月、次期RBNZ総裁にエイドリアン・オア元副総裁の就任が決定したことを受けてニュージーランドドルは買い戻されましたが、対円では2018年の年明け後の円高に相殺されました。

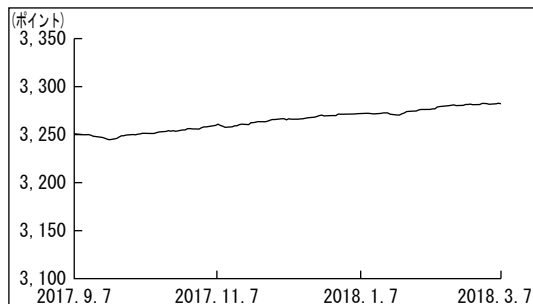
短期NZドル債オープン（資産成長型）

【投資環境】

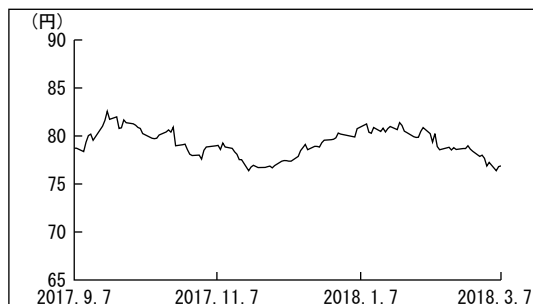
当期のニュージーランド債券市場は、米国主導で世界的に長期債利回りが上昇するなか、RBNZが政策金利据え置きを継続し、ニュージーランド債券利回り曲線は傾斜化しました。

期初は北朝鮮を巡る地政学リスクの後退や2017年9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）のタカ派化警戒からニュージーランド債券利回りは上昇（価格は下落）となりましたが、9月23日の総選挙で国民党が単独過半数を失った結果、利回りは低下（価格は上昇）に転じました。その後、野党3党による連立政権が樹立されると、経済政策の不透明感が嫌気され、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）し、ニュージーランドドルは急落しました。12月に次期中央銀行総裁にエイドリアン・オア元副総裁が指名されたことを受けてニュージーランドドルは買い戻されました。2018年の年明けから期末にかけては、米国主導でグローバルに長期国債利回りが上昇した影響を受けて長期債利回りは上昇（価格は下落）した一方、RBNZが低インフレと住宅市場の低迷を背景に利上げに慎重な姿勢を維持したため、短期債利回りは低下（価格は上昇）し、円高の進行によりニュージーランドドル円相場は軟調な展開となりました。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



為替レート（ニュージーランドドル／円）の推移



短期N Zドル債オープン（資産成長型）

【ポートフォリオ】

■短期N Zドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期N Zドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は91.3%としました。

■短期N Zドル債マザーファンド

当期の騰落率は、△1.4%となりました。

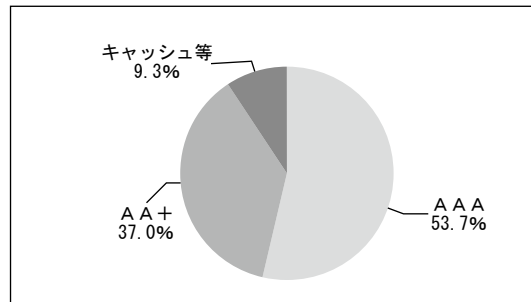
当期は、RBNZの政策金利据え置きは長期化すると判断し、デュレーション*を長めに運用しました。

期初は2017年9月23日の総選挙を控えデュレーションを参考指数に対し中立とし、1.5年程度としましたが、政権交代を受けて10月にデュレーションを2.5年へ引き上げました。その後、11月上旬と12月中旬にデュレーションを長期化し、2.8年程度としましたが、2018年の年明け後に米国主導でグローバルに長期金利が上昇した影響を受けてニュージーランド国債も長期債利回りが上昇に転じたため、1月上旬にデュレーションを引き下げ始め、期末のデュレーションは1.9年程度としました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

格付別資産構成

(2018年3月7日現在)

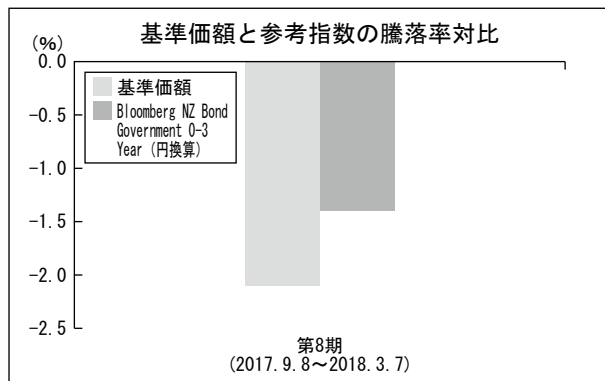


*純資産総額に対する評価額の割合

短期NZドル債オープン（資産成長型）

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当たり・税引前)

項目	第8期	
	2017年9月8日 ~2018年3月7日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,366	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

短期NZドル債オープン（資産成長型）

今後の運用方針

■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

■短期NZドル債マザーファンド

次期RBNZ総裁にエイドリアン・オア元副総裁が指名され、2018年3月27日に就任します。オア氏はニュージーランド老齢年金基金のCEO（最高経営責任者）を務める金融業界の重鎮であることから、労働党主導の連立政権下でのRBNZ新体制に対して安心感が広がり、新総裁の政策方針に注目が集まっています。

運用方針については、オアRBNZ新総裁の政策スタンスに注目し、グローバルな投資環境を見通しながらデュレーションを決定する方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2017年9月8日～2018年3月7日		
	金額	比率	
信託報酬	60円	0.609%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,771円です。
（投信会社）	(29)	(0.297)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(29)	(0.296)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	13	0.128	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(12)	(0.123)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	72	0.738	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

短期NZドル債オープン（資産成長型）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2017年9月8日から2018年3月7日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 1,008	千円 1,027	千口 4,708	千円 4,836

利害関係人との取引状況等

（2017年9月8日から2018年3月7日まで）

<短期NZドル債オープン（資産成長型）>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

<短期NZドル債マザーファンド>

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2018年3月7日現在

■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 48,384	千口 44,684	千円 44,899

*短期NZドル債マザーファンド全体の受益権口数は、430,574千口です。

投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
短期NZドル債マザーファンド	千円 44,899	% 100.0
投資信託財産総額	44,899	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=76.88円

*短期NZドル債マザーファンド

当期末における外貨建資産（398,507千円）の投資信託財産総額（432,681千円）に対する比率 92.1%

短期N Zドル債オープン（資産成長型）

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	44,899,121円
短期N Zドル債マザーファンド(評価額)	44,899,121
(B) 負 債	282,085
未 払 信 託 報 酬	279,692
そ の 他 未 払 費 用	2,393
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	44,617,036
元 本	46,810,109
次 期 繰 越 損 益 金	△ 2,193,073
(D) 受 益 権 総 口 数	46,810,109口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	9,531円

* 元本状況

期首元本額	48,972,965円
期中追加設定元本額	1,062,407円
期中一部解約元本額	3,225,263円

* 元本の欠損

2,193,073円

損益の状況

自2017年9月8日
至2018年3月7日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 662,791円
売 買 益	54,904
売 買 損	△ 717,695
(B) 信 託 報 酬 等	△ 282,085
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 944,876
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	4,980
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,253,177
(配 当 等 相 当 額)	(1,599,136)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,852,313)
(F) 計 (C + D + E)	△ 2,193,073
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 2,193,073
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,253,177
(配 当 等 相 当 額)	(1,600,793)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,853,970)
分 配 準 備 積 立 金	4,795,150
繰 越 損 益 金	△ 5,735,046

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

< 分配金の計算過程 >

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 取 益 (費用控除後)	723,211円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	1,600,793
(D) 分 配 準 備 積 立 金	4,071,939
分 配 可 能 額 (A + B + C + D)	6,395,943
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(1,366.36)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(0)

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

短期NZドル債マザーファンド

運用報告書

決算日：2018年3月7日

(第8期：2017年9月8日～2018年3月7日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資は行いません。・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

資産運用のベストパートナー、だいwasみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

短期NZドル債マザーファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第4期 (2016年3月7日)	9,601	5.0	9,439	5.1	94.9	—	百万円 785
第5期 (2016年9月7日)	9,519	△0.9	9,349	△1.0	96.4	—	790
第6期 (2017年3月7日)	10,138	6.5	9,971	6.6	94.1	—	756
第7期 (2017年9月7日)	10,195	0.6	10,010	0.4	87.5	—	415
第8期 (2018年3月7日)	10,048	△1.4	9,868	△1.4	90.7	—	432

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

*先物組入比率は、買建比率-売建比率

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年9月7日	10,195	—	10,010	—	87.5	—
9月末	10,524	3.2	10,342	3.3	93.7	—
10月末	10,060	△1.3	9,884	△1.3	94.4	—
11月末	9,989	△2.0	9,793	△2.2	94.5	—
12月末	10,472	2.7	10,260	2.5	92.4	—
2018年1月末	10,420	2.2	10,231	2.2	96.8	—
2月末	10,156	△0.4	9,971	△0.4	90.7	—
(期末) 2018年3月7日	10,048	△1.4	9,868	△1.4	90.7	—

*騰落率は期首比です。

*先物組入比率は、買建比率-売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：10,195円
 期末：10,048円
 騰落率：△1.4%

【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

ニュージーランド国債利回りは長期ゾーンが上昇（価格は下落）した一方、主たる投資対象である短期ゾーンは低下（価格は上昇）したことが上昇要因となりました。

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が政策金利据え置きを継続した一方、米国主導でグローバルに長期国債利回りが上昇したことが影響しました。

(下落要因)

ニュージーランドドル円相場が期首の78.73円から期末に76.88円へ下落したことが下落要因となりました。2017年9月に実施された総選挙で与党・国民党が単独過半数を獲得できず、野党3党による連立政権が樹立されたことが嫌気され、ニュージーランドドルは急落しました。12月、次期RBNZ総裁にエイドリアン・オア元副総裁の就任が決定したことを受けてニュージーランドドルは買い戻されましたが、対円では2018年の年明け後の円高に相殺されました。

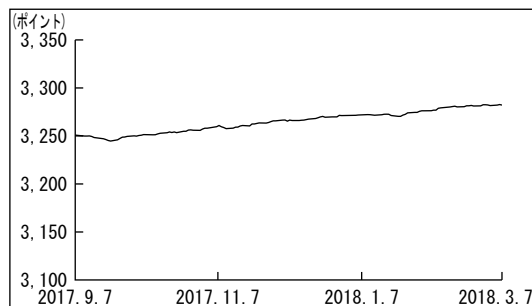
【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、米国主導で世界的に長期債利回りが上昇するなか、RBNZは政策金利据え置きを継続し、ニュージーランド債券利回り曲線は傾斜化しました。

期初は北朝鮮を巡る地政学リスクの後退や2017年9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）のタカ派化警戒からニュージーランド債券利回りは上昇（価格は下落）となりましたが、9月23日の総選挙で国民党が単独過半数を失った結果、利回りは低下（価格は上昇）に転じました。その後、野党3党による連立政権が樹立されると、経済政策の不透明感が嫌気され、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）し、ニュージーランドドルは急落しました。12月に次期中央銀行総裁にエイドリアン・オア元副総裁が指名されたことを受けてニュージーランドドルは買い戻されました。2018年の年明けから期末にかけては、米国主導でグ



Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



短期NZドル債マザーファンド

グローバルに長期国債利回りが上昇した影響を受けて長期債利回りは上昇（価格は下落）した一方、RBNZが低インフレと住宅市場の低迷を背景に利上げに慎重な姿勢を維持したため、短期債利回りは低下（価格は上昇）し、円高の進行によりニュージーランドドル円相場は軟調な展開となりました。

【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、△1.4%となりました。

当期は、RBNZの政策金利据え置きは長期化すると判断し、デュレーション*を長めに運用しました。

期初は2017年9月23日の総選挙を控えデュレーションを参考指数に対し中立とし、1.5年程度としましたが、政権交代を受けて10月にデュレーションを2.5年へ引き上げました。その後、11月上旬と12月中旬にデュレーションを長期化し、2.8年程度としましたが、2018年の年明け後に米国主導でグローバルに長期金利が上昇した影響を受けてニュージーランド国債も長期債利回りが上昇に転じたため、1月上旬にデュレーションを引き下げ始め、期末のデュレーションは1.9年程度としました。

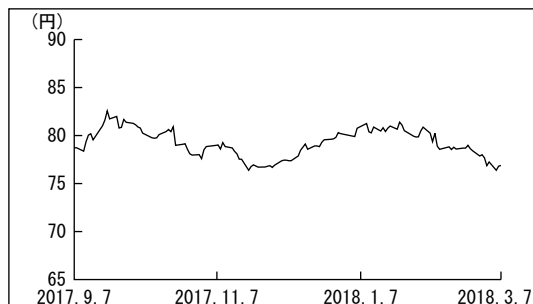
*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

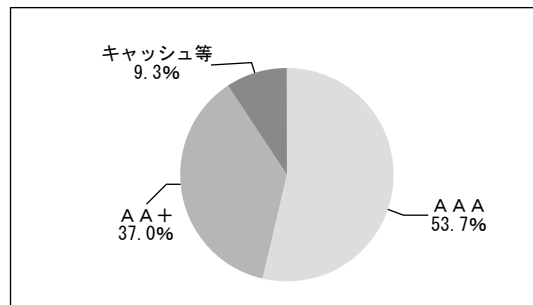
基準価額の騰落率は、参考指数であるBloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）の騰落率△1.4%とほぼ同水準となりました。

為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



格付別資産構成

(2018年3月7日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

短期NZドル債マザーファンド

今後の運用方針

次期RBNZ総裁にエイドリアン・オア元副総裁が指名され、2018年3月27日に就任します。オア氏はニュージーランド老齢年金基金のCEO（最高経営責任者）を務める金融業界の重鎮であることから、労働党主導の連立政権下でのRBNZ新体制に対して安心感が広がり、新総裁の政策方針に注目が集まっています。

運用方針については、オアRBNZ新総裁の政策スタンスに注目し、グローバルな投資環境を見通しながらデュレーションを決定する方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2017年9月8日～2018年3月7日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	13円 (13)	0.123% (0.123)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	13	0.123	
期中の平均基準価額は10,270円です。			

*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

■公社債

		買付額		売付額	
外国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランド・ドル 2,309	千ニュージーランド・ドル 2,408 (100)	
		地方債証券	934	301 (100)	
		特殊債証券	517	201 (100)	

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

短期NZドル債マザーファンド

主要な売買銘柄

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

■公社債

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金	銘	柄	金
		千円			千円
NEW ZEALAND GOVERNMENT	5 03/15/19	74,543	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5 03/15/19	80,338
NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	62,748	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	74,050
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5 03/15/19	56,056	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5 04/15/27	36,176
NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5 04/15/27	44,596	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6 12/15/17	23,407
ASIAN DEVELOPMENT BANK	4.625 03/06/19	42,095	EUROPEAN INVESTMENT BANK	7.5 12/15/17	15,634
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5 04/15/27	17,024			

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2017年9月8日から2018年3月7日まで)

■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

組入資産の明細

2018年3月7日現在

■公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	う ち BB格以下 組入比率	末		
		評 価 額		組入比率			残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額				5年以上	2年以上	2年未満
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 4,900	千ニュージーランド・ドル 5,103	千円 392,360	% 90.7	% —	% 13.7	% 24.1	% 52.9	
合 計	—	—	392,360	90.7	—	13.7	24.1	52.9	

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

短期NZドル債マザーファンド

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	種類	利率	額面金額	期末		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ニュージーランド・ドル…ニュージーランド)		%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	100	111	8,603	2021/05/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	5.0000	700	722	55,561	2019/03/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	5.5000	200	229	17,612	2023/04/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	3.0000	500	510	39,283	2020/04/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	4.5000	100	111	8,594	2027/04/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.0000	900	926	71,211	2019/03/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	200	220	16,971	2021/05/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.5000	200	222	17,121	2023/04/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	4.5000	200	209	16,123	2027/04/15
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	特殊債券	4.0000	300	309	23,758	2020/01/30
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	3.5000	500	512	39,396	2021/01/22
COUNCIL OF EUROPE	特殊債券	7.5000	500	504	38,749	2018/04/30
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	4.6250	500	512	39,372	2019/03/06
合計	—	—	4,900	5,103	392,360	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

2018年3月7日現在

項目	期末	
	評価額	比率
公社債	千円	%
公社債	392,360	90.7
コール・ローン等、その他	40,320	9.3
投資信託財産総額	432,681	100.0

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=76.88円

*当期末における外貨建資産（398,507千円）の投資信託財産総額（432,681千円）に対する比率 92.1%

短期N Zドル債マザーファンド

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年3月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	534,298,008円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,078,085
公 社 債(評価額)	392,360,386
未 収 入 金	101,712,649
未 収 利 息	3,962,123
前 払 費 用	2,184,765
(B) 負 債	101,676,036
未 払 金	101,676,036
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	432,621,972
元 本	430,574,923
次 期 繰 越 損 益 金	2,047,049
(D) 受 益 権 総 口 数	430,574,923口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,048円

*元本状況

期首元本額	407,936,756円
期中追加設定元本額	101,520,255円
期中一部解約元本額	78,882,088円

*元本の内訳

短期N Zドル債オープン (毎月分配型)	385,890,288円
短期N Zドル債オープン (資産成長型)	44,684,635円

損益の状況

自2017年9月8日
至2018年3月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	9,730,071円
受 取 利 息	9,739,157
支 払 利 息	△ 9,086
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△14,249,971
売 買 益	19,732,699
売 買 損	△33,982,670
(C) そ の 他 費 用	△ 551,544
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 5,071,444
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,952,689
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 3,083,084
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,248,888
(H) 計 (D+E+F+G)	2,047,049
次 期 繰 越 損 益 金(H)	2,047,049

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments